

平成26年度 事業計画

【目的】

障がいのある方に対し、個人の意向を尊重しながら、多様で総合的な援助を提供し、地域社会においても自立した生活を営むことができるよう支援することを目的とする。

【開所日】

月曜～金曜日 午前9時～午後4時 土・日・祭日は休日とする。

* 休日に行事が行なわれた場合は代休をとることがある。

休業日 8月11日(月)～15日(金)

12月28日(金)～翌年1月5日(月)

【事業】

1) 創作的活動

フラワーアレンジ・音楽・書道・パソコン・パドル体操

2) 生産活動

クッキー作り・内職・マット編み・EMボカシ作り

資源回収(古新聞・古雑誌・アルミ缶)

3) 社会との交流活動

バザー(ひばりまつり・福祉まつり・各特別支援学校)

フレサよしみ喫茶コーナーにてクッキー販売依頼

荒川荘での販売依頼・施設体験実習受入れ・施設見学受入れ

4) 日中支援活動

外出(散歩・買物・巡回バス利用・花見)

親睦(朝の会・帰りの会・誕生日会など)

生活訓練(朝、帰りの清掃・手洗い・食器洗い・テーブルふき)

ゴミ分別・トイレ掃除・入浴・乗降車の利用法など)

健康診断 デイキャンプ クリスマス会

就労支援相談

【日課】

	9:00	9:20	10:30	12:00	13:30	15:30	16:00
通所	朝の会	ラジオ体操		昼食・休憩		帰りの会	清掃 退所
清掃		休憩(水分補給)					

趣味の講師	ボランティア	
書道 舟橋 みどり先生	東松山むさしロータリークラブ	担当 中村 善博さん
フラワーイング 斎藤 真理子先生	野ぎくの会	代表 新井 裕子さん
音楽 横田 淑子 先生	クッキー作り	石曾根 ヨシ さん
パドル体操 木村 悅子 先生		
パソコン 大久保 憲子(職員)		

平成 26 年度事業計画

事業実施の方針

障がいのある方の個人の意志を尊重しながら、多様で総合的な援助を提供し、地域社会で自立した生活を営めるよう支援する。

事業の実施に関する事項

(平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日)

事 業 内 容		実施 日時	実施 場所	対象者 の範囲
創 作 的 活 動	花に親しみ、作品を作りあげる フラワーアレンジ	毎月 1 回	施設内	利用者
	心を落ち着かせ、集中力を高める 書道	毎月 1 回	施設内	利用者
	歌や踊り演奏を楽しむ 音楽	毎月 1 回	施設内	利用者
	体力作りを表現力につける パドル体操	毎月 1 回	施設内	利用者
	遊びながら親しむ パソコン	毎月 1 回	施設内	利用者
生 産 活 動	“サクサクッ”と美味しい クッキーを作る クッキーの販売	随時	施設内	利用者 近隣住民
	集中力・意欲を育てる内職	随時	施設内	利用者
	布の端切れを使いマット編み マットの販売	随時	施設内	利用者 近隣住民
	資源回収（古新聞・古雑誌 アルミ缶）	随時	吉見町 地区内	利用者
	生ごみを堆肥に変える E Mボカシの製造 E Mボカシの販売	随時	施設内	利用者 吉見地区 住民
社会との交 流活動	催し物 ひばりまつり 模擬店 ゲームコーナー	5 月 10 日	施設内 福祉会館内	利用者 出演者 ボランティア 来場者
	福祉まつり 授産品販売・バザー	11 月 3 日	ふれあい 広場	吉見地区 住民
	吉見まつり 文化祭作品展示 (書道・手芸)	11 月 3 日	フレサ よしみ	利用者

事 業 内 容		実施日時	実施場所	対象者の範囲
社会との交流活動	川島ひばりヶ丘特別支援学校実習受け入れ 高等部2年1名	6/16~20	施設内	実習生
	施設見学受入れ	随時	施設	各特別支援学校 その他
	荒川荘での販売依頼	随時	荒川荘	吉見町民
日中支援活動	外出 散歩・買い物・巡回バス利用 お花見	随時	施設周辺 道の駅	利用者
	親睦 朝の会・帰りの会・誕生日会	毎日 随時	施設内	利用者
	生活訓練 朝・帰りの清掃、手洗い 食器洗い・テーブル拭き トイレ清掃・通所支援・入浴	毎日 随時	施設内	利用者
	健康診断	随時	各機関	利用者
	デイキャンプ	8月	施設内	利用者
	クリスマス会	12月	施設内	利用者 保護者
	個別相談	随時	施設内	利用者
支援就労活動				